

2023年度

タートルナーサリー 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2023年1月15日（月）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2023年2月26日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念を意識し保育者も子どもたちと一緒にその姿勢をとり子どもも保育者も楽しいと思える保育が多くできたように思う。今後も工夫を重ねながらより安全により楽しく保育者が同じ方向を向いて保育をしていく。
子どもの発達援助	自園では異年齢保育を行っているため、年齢に応じた発達段階を知り、個々の育ちを大切にしながら関わった。子どもの興味関心や年齢ごとの課題を見直し、子どもが今したいことをよく観察しそれに合わせた環境設定や手作りおもちゃ作りを行った。
保護者に対する支援	送迎時や連絡帳等のやりとりの中で成長の様子やエピソードなどを伝え共に喜び、私たちも一緒に子育てに取り組んでいることを感じていただけるよう心がけた。保護者の方からの意見も柔軟に受けとめそれによってよりよくなるよう改善を行っていった。
保育を支える組織的基盤	毎月、園内研修や職員会議などでマニュアルの読み合わせでの再確認を行った。子ども一人ひとりについての課題・目標を全員で共有し、対応に困る事例については具体的に話し合い同じ目標に向かって取り組んだ。

総評
全国の保育施設での不適切保育や重大事故のニュースが報道されるたびに、自園ではそれを起こさない環境になっているか、職員の声掛け、関わり方に問題はないかなど職員間で話し合う機会を設け、絶対に起こしてはならないと強く意識しながら保育にあたった。引き続き保護者からも安心して利用していただけるよう保育者一人ひとりが自己研鑽に努め、質の高い丁寧な保育をしていきたい。